

## 第 1 章

# インストールプログラムのダウンロード

### 1.1 CSIS へアクセス

CSIS（東京大学空間情報科学研究センター）Web サイト内の Esri 製品ダウンロードページにアクセスしてください。

<http://sls.csis.u-tokyo.ac.jp/campusonly/download.html>

※ 東京大学 学内専用 URL です。学内からのアクセスが必要です。

そのページ上部にある >> **Downlaod** << をクリックします。(図 1.1)

### 1.2 サイトライセンス利用者申請の入力

図 1.2 を参考に、ページ上部のフォームを入力します。

- 名前：あなたの名前
- 所属：工学部・工学系研究科
- 職名：学部学生
- メールアドレス：あなたのメールアドレス
- How many ... : (基本的には) 1

次に、利用する製品名にチェックを入れます。ここでは、**ArcGIS 10.2.2 for Desktop** のみにチェックを入れるだけで大丈夫です。(日本語パックやパッチなども付属しています。)

### 1.3 製品のダウンロード

フォームの入力が完了したら、送信、次にダウンロードを選択します。ダウンロード先は利用者各々好きな場所で構いません。

zip ファイルが順次ダウンロードされます。

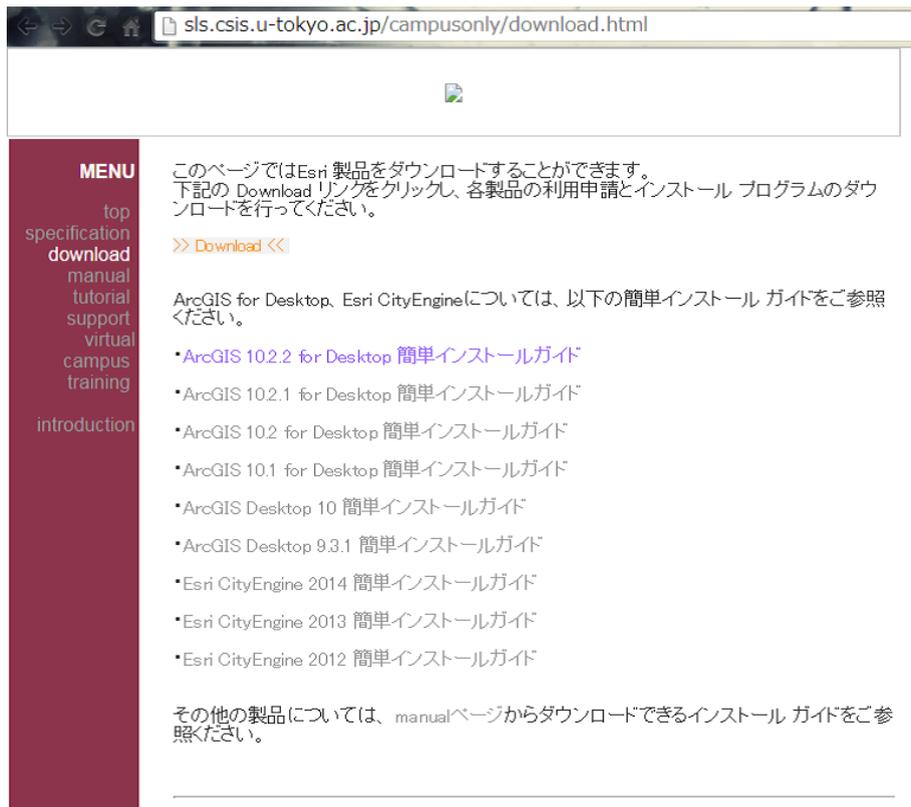


図 1.1 CSIS の DL ページ



図 1.2 入力フォームの例

## 1.4 解凍

次に、ダウンロードした zip ファイル **ArcGIS Desktop.zip** を解凍します。該当する zip ファイル上で右クリックを行い、すべて展開をクリックするなど、自身の PC 環境に合わせて解凍を行ってください。解凍が正しく完了すれば、図 1.3 に示すファイルが格納されたフォルダ **ArcGISDesktop** が得られます。今後はこの解凍後のフォルダを用いてインストール作業を行うので、間違っても zip ファイル内のファイルを使わないようにしてください。

これより ArcGIS のインストールを行ってきますが、1~5 フォルダの順にインストールすることを心

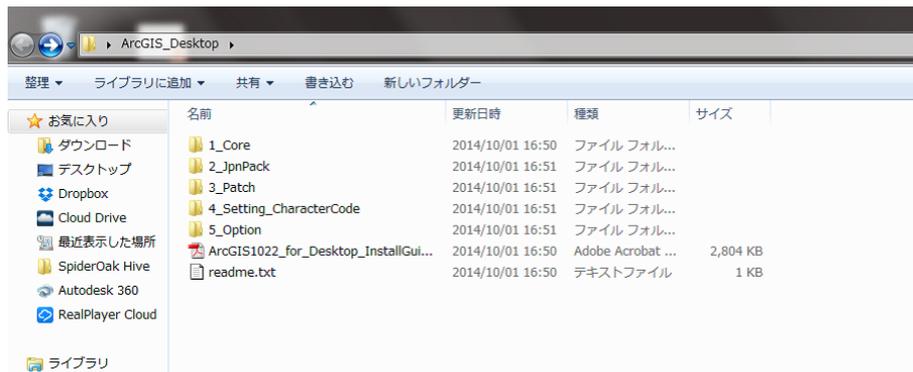


図 1.3 解凍後のフォルダ中身

掛けてください。順序が違ったり抜けていたりすると、正しくインストールされない恐れもあるので、次章からの詳細な手順をよく読みながら進めてください。

## 第 2 章

# ArcGIS10.2.2 のインストール

この章は、これまでの手順によってダウンロードしたファイル内に同梱されているインストールガイドに追記したものです。

書かれている内容をよく読んで、不足ないようにインストール作業を行ってください。

また、インストール中の STEP 4. ライセンスの設定には学内からのアクセスが必要です。

なお、このインストールガイドを皆さんに配る前に地情研で ArcGIS 10.2.2 の動作確認は行っているものの、研究室の所有する PC の制約上 Windows 7 と Windows 8.1 でしか正常動作を確認できていません。Windows 8 では動かないというわけではないと思いますが (ArcGIS 10.2.2 のシステム要件を満たしている)、すべての機能について他の OS と同様に動くかについては研究室側では未確認です。Windows 8 に入れてみたけど正しく動かない、もしくは、万全を期したいという人は、Windows 8.1 へのアップグレードを行ってから ArcGIS のインストールに進むとよいでしょう。

# 東京大学様向け ArcGIS サイトライセンス ArcGIS 10.2.2 for Desktop インストール ガイド

## はじめに

本ガイドは、ArcGIS 10.2.2 for Desktop (Basic, Standard, Advanced) をインストールされる方を対象としたインストール ガイドです。

東京大学では、学内のクライアントPCから、柏キャンパスに設置されているArcGISライセンス サーバを参照することにより、ArcGIS for Desktop製品を利用することができます。

## インストールに関する注意

### インストールに関する注意

- ① 必ず**管理者権限を持つ半角英数文字名のユーザー アカウント**でコンピュータにログインしてから、インストール作業を行ってください。
- ② Windows のユーザー アカウント制御機能が有効になっている場合、インストールの際に操作の認証確認をするダイアログ ボックスが表示されますのでご注意ください。  
※確認方法については 2 ページをご覧ください

具体的なインストール  
作業手順はp.5へ。

# 目次

動作環境	3
インストール	3
インストールの流れ	3
<b>STEP 1. インストール プログラムの入手</b>	<b>4</b>
STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール	5
STEP 3. パッチ等のインストール	12
STEP 4. ライセンスの設定	13
i . 同時使用 (CU) ライセンスの参照	13
ii . ライセンスの借用	15
STEP 5. 動作確認	16
アンインストール	17
トラブルシューティング	20
技術的な質問に関するお問い合わせ	26

## Windows のユーザー アカウント制御機能の確認方法

Windows の [コントロール パネル] → [ユーザー アカウント] → [ユーザー アカウント制御設定の変更] をクリックし、[ユーザー アカウント制御の設定] で、スライダー バーが [プログラム\*<sup>1</sup>がコンピューターに変更を加えようとする場合のみ通知する (デスクトップを暗転しない)] より [常に通知する] に近い設定になっていると、操作の確認をするダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログボックスを表示させたくない場合は、一時的に「通知しない」等に変更し、コンピュータを再起動してください。

\*1…Windows 8 以降、Server 2012 以降の場合はアプリ

# 動作環境

ArcGIS 10.2.2 for Desktop をインストールするには、以下のシステム要件を満たしている必要があります。最新のシステム要件については ESRIジャパン サイト内の動作環境のページをご参照ください。

[http://www.esri.com/products/arcgis/desktop/arcgis-for-desktop/environments/10\\_2\\_2](http://www.esri.com/products/arcgis/desktop/arcgis-for-desktop/environments/10_2_2)

([製品] メニュー → [ArcGIS] → [デスクトップ] → [ArcGIS for Desktop] → [動作環境])

## 【主なシステム要件】

**OS** - Windows 8.1 Update (KB2919355)、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7

Windows Server 2012 R2 Update (KB2919355)、Windows Server 2012 R2、

Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008

**ブラウザ** - Microsoft Internet Explorer 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11 (日本語版)

**CPU** -速度:2.2 GHz以上

-プロセッサ: Intel Pentium 4、Core Duo、Xeon 以上

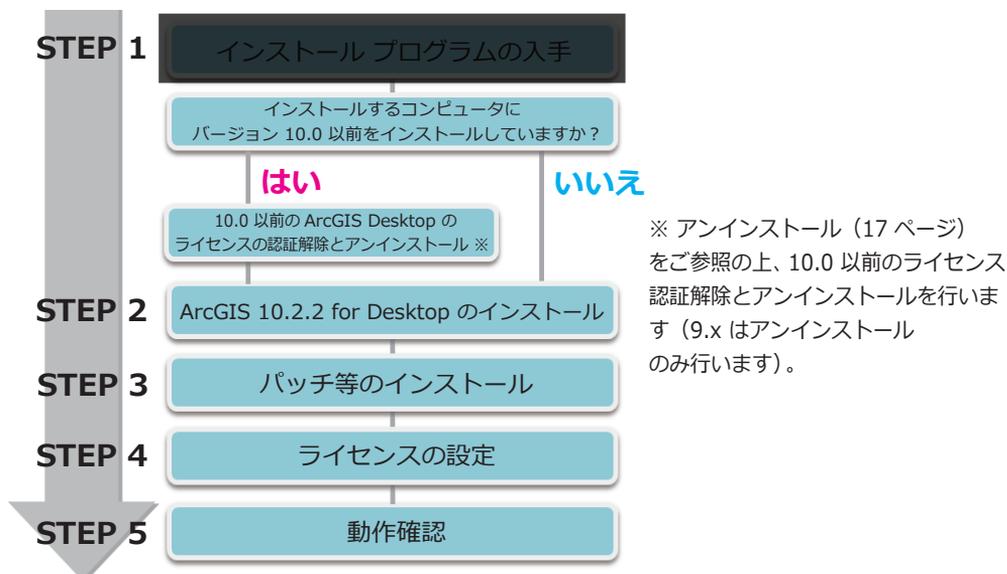
**メモリ** - 2 GB以上

**ディスク容量** - 約 2.45 GB

# インストール

## ⚠ 重要 インストールの流れ

以下の図にしたがってインストールを行ってください。



# インストール

## STEP 1. インストールプログラムの入手

### STEP 1. インストールプログラムの入手

1. CSIS (東京大学 空間情報科学研究センター) Webサイト内のEsri 製品 ダウンロード ページにアクセスしてください。

<http://sls.csis.u-tokyo.ac.jp/campusonly/download.html>

※ 東京大学 学内専用URLです。

2. ダウンロード ページから、ArcGIS 10.2.2 for Desktopをダウンロードしてください。

ファイル (ファイル名)	内容	サイズ
ArcGIS 10.2.2 for Desktop (ArcGIS_Desktop_1022_ja_140421.exe)	「ArcGIS 10.2.2 for Desktop」と、ユーザ インタフェースとヘルプを日本語化するための「日本語パック」のインストール プログラムです。	1.3 GB
国内対応パック (JpnPack_Desktop10_2_2.zip)	日本の仕様に対応したデータ変換ツールやシンボル スタイルなどが含まれています (JpnPack_Desktop10_2_2.zip を展開すると、JpnPack_Desktop10_2_2.msi が作成されます。こちらが国内対応パックのインストール プログラムです)。	50 MB
Set Shapefile Default Code Page パッチ (ArcGIS-1022-DT-SSDCP-Patch.msp)	シェープファイルを作成・出力する際の文字コードの設定を変更できるようにするパッチです。	1.4 MB
文字コード設定変更パッチ ファイル (ArcGIS-1022-DT-ChangeCPToShift_JIS.zip)	シェープファイルを作成・出力する際の文字コードを Shift_JIS に変更するパッチ ファイルです (ArcGIS 10.2.1 からシェープファイルを作成・出力する際のデフォルトの文字コードが Shift_JIS から UTF-8 に変更になり、利用上の制限がありますので、従来通りの Shift_JIS の設定にするために実行します)。	1.0 KB

既に行ったので不要

## STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール

STEP 1 でダウンロードしたプログラムを、以下の順番でインストールします。

- ① ArcGIS 10.2.2 for Desktop > ② 日本語パック > ③ 国内対応パック > ④ パッチ
- ※ ② 日本語パックは ArcGIS 10.2.2 for Desktop に含まれています。
  - ※ ④ のパッチは STEP3 (12 ページ) でインストールします。
  - ※ インストール中に、インストールが先に進まないなどのトラブルが発生した場合は、29 ページ以降のトラブルシューティングをご参照ください。

ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール プログラム ([ArcGIS\\_Desktop\\_1022\\_ja\\_140421.exe](#)) を実行すると、①「ArcGIS 10.2.2 for Desktop」と②「日本語パック」のプログラムが続けてインストールされます。その後、国内対応パックのインストール プログラム ([JpnPack\\_Desktop10\\_2\\_2.msi](#)) を実行して、③「国内対応パック」をインストールします。

### ⚠ 重要

コンピュータに旧バージョンの ArcGIS for Desktop がインストールされている場合は、必ず以下をご確認ください。

インストールされているバージョンは何ですか？

10.0 以前

10.1 以降

10.0 以前の ArcGIS Desktop の  
ライセンスの認証解除とアンインストール ※

※ アンインストール (17 ページ) をご参照の上、10.0 以前の ArcGIS Desktop のライセンス認証解除とアンインストールを行います (9.x はアンインストールのみ行います)。

ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール

#### ・10.0 以前のバージョンがインストールされている場合

旧バージョンのプログラムを事前にアンインストールする必要があります。  
アンインストール方法については 17 ページをご参照ください。

#### ・10.1 以降のバージョンがインストールされている場合

バージョン 10.1 以降のプログラムについてはアンインストールは不要です。  
そのままバージョン 10.2.2 を上書きインストールしてアップグレードできます  
(インストールの場所、ライセンスの設定はアップグレード後も維持されます)。  
次ページ以降の手順に沿ってインストールを行ってください。

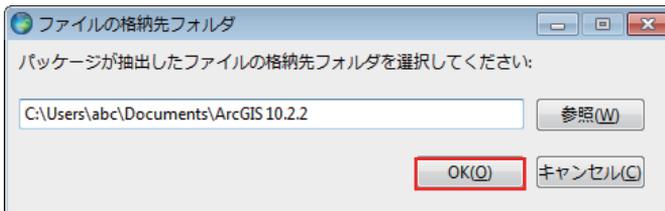
# インストール

## STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール

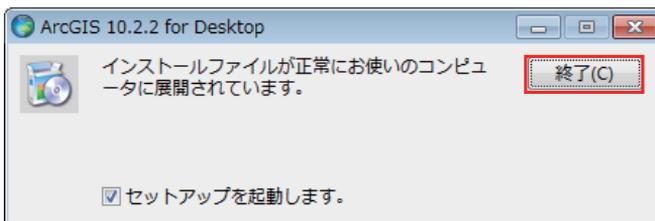
### ⚠ 注意

インストールの際には、必ず**管理者権限を持つ半角英数文字名のユーザー アカウント**でコンピュータにログインして作業を行ってください（ソフトウェアのご利用時においても、半角英数文字名のユーザー アカウントをご使用ください）。また、Windows のユーザー アカウント制御機能が有効になっている場合、インストールの際に操作の確認をするダイアログ ボックスが表示されますので、ご注意ください（詳細は 2 ページをご参照ください）。

1. 「STEP 1. インストール プログラムの入手」（4 ページ）でダウンロードした **ArcGIS\_Desktop\_1022\_ja\_140421.exe (ArcGIS 10.2.2 for Desktop)** をダブルクリックして実行します。
2. [OK] ボタンをクリックすると、インストール プログラムが自動的に展開されます。デフォルトの展開先フォルダは、**<マイドキュメント>¥ArcGIS 10.2.2** です。展開したファイルのサイズは合計で 1.6 GB です。展開先のドライブの空き容量がこのサイズより小さい場合は、[参照] ボタンをクリックして別の保存場所を指定します。



ファイルの展開が完了すると、以下のウィンドウが表示されますので、[終了] ボタンをクリックしてインストール プログラムを起動します。



インストールを手動で実行する場合は、展開先のフォルダ **<マイドキュメント>¥ArcGIS 10.2.2 ¥Desktop\_Japanese** フォルダ内の **Setup.exe**  をダブルクリックします。

3. 以下のいずれかのウィンドウが表示され、インストールが始まります。

**【パターン 1】**  
**新規にインストールされる方**



**【パターン 2】**  
**バージョン 10.1 以降の ArcGIS for Desktop (同時使用ライセンス) がインストールされているコンピュータに上書きインストールされる方**



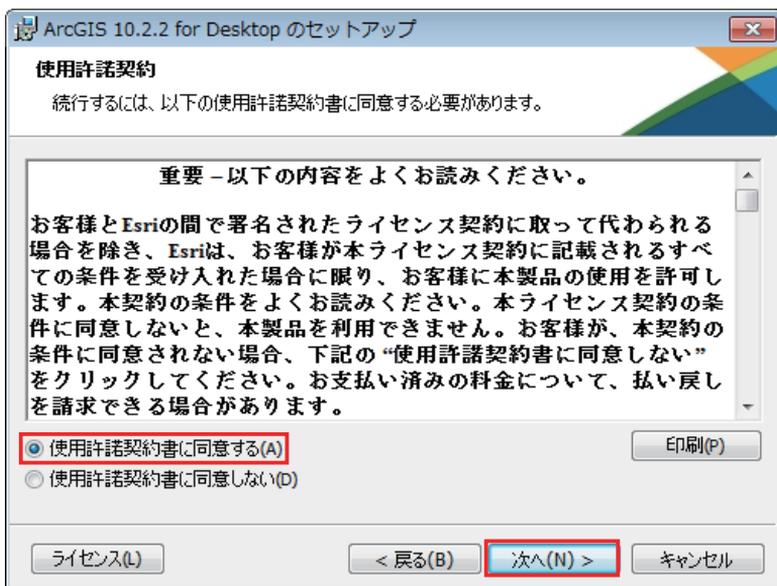
[次へ] ボタンをクリックします。

※ インストールを行うコンピュータにバージョン 10.0 以前の ArcGIS Desktop 製品がインストールされている場合は、「アップグレード要件を満たしていません」と書かれたウィンドウが表示されます。既存の ArcGIS Desktop 製品をアンインストールしてから、ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストールを行ってください（アンインストール…17ページ）。

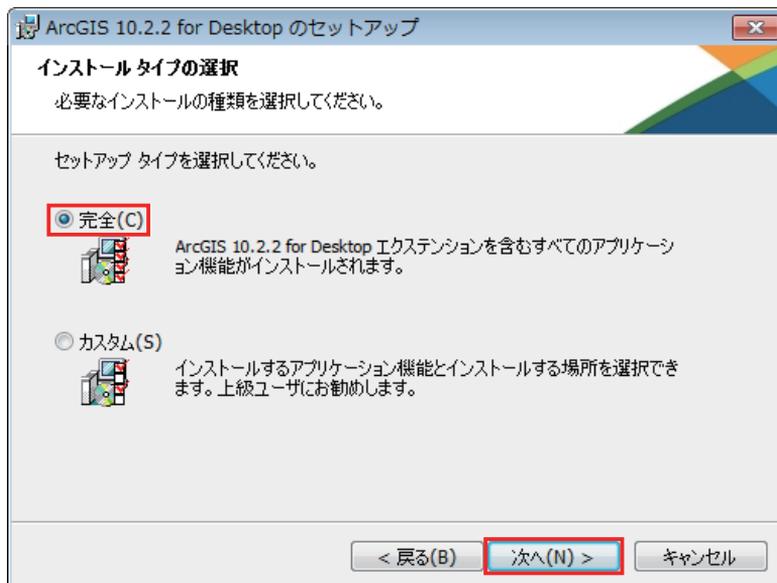
# インストール

## STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール

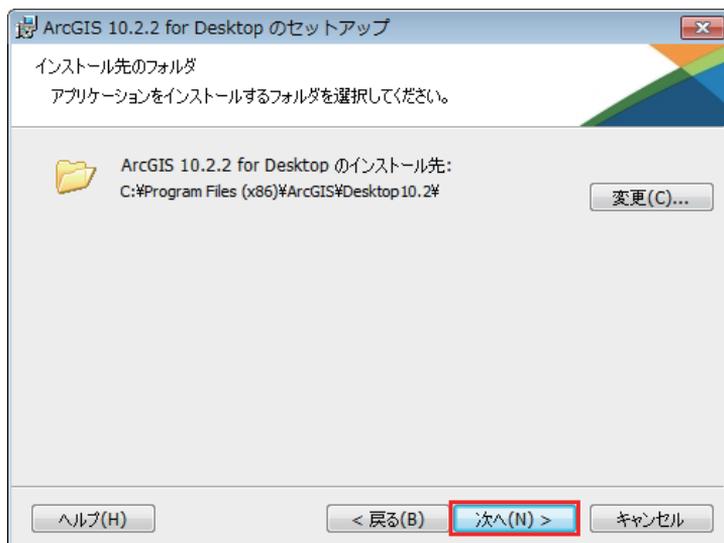
4. 使用許諾契約書をお読みいただき、内容に同意された上で、**[使用許諾契約書に同意する]** ラジオ ボタンを選択して、**[次へ]** ボタンをクリックします。



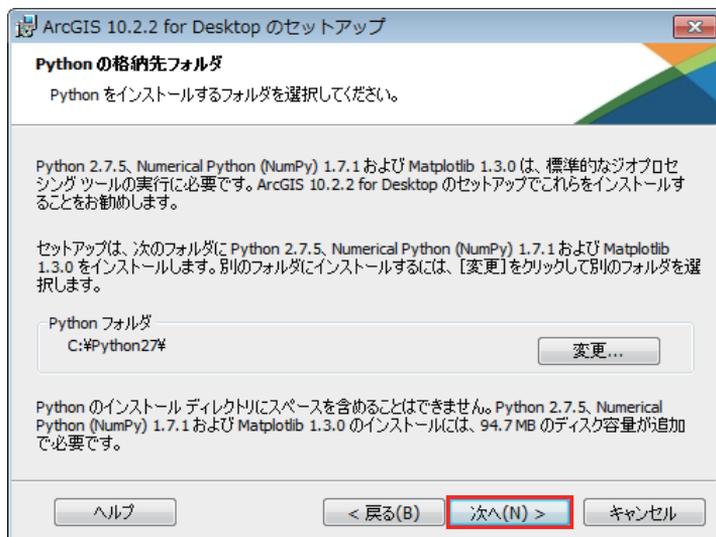
5. **[完全]** を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックして次へ進みます。



6. ArcGIS 10.2.2 for Desktop をインストールするフォルダを確認もしくは変更後、  
[次へ] ボタンをクリックして次へ進みます。



7. Python<sup>\*2</sup> をインストールするフォルダを確認もしくは変更後、[次へ] ボタンをクリックします。



\*2 ... ArcGIS for Desktop で使用するスクリプト言語。

Python27およびNumPy, Matplotlibを  
すでにインストールしている人はカスタ  
ム設定より省略も可能。  
(Windows 7上で正常動作を確認済み)

# インストール

## STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール

8. [インストール] ボタンをクリックすると、プログラムのインストールが開始します。



※ [ここをクリックして、Esri User Experience Improvement プログラムに参加します。] (推奨) チェックボックスがオンになっていると、ArcGIS 10.2.2 for Desktop のご使用状況などの情報が Esri に送信されます。希望されない場合は、チェックボックスをオフにしてください。

※ インストールが開始するまでに時間がかかることがあります。また、インストールには数十分程度を要する場合があります。

9. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のセットアップ完了のウィンドウと、「ArcGIS Administrator ウィザード」ウィンドウが表示されます。

「ArcGIS 10.2.2 for Desktop の セットアップ」ウィンドウの [完了] ボタンをクリックします。

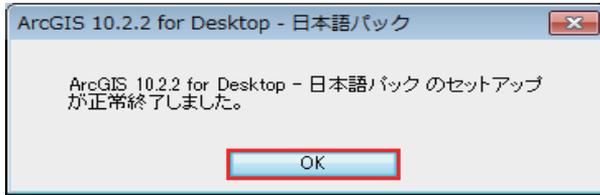
「ArcGIS Administrator ウィザード」ウィンドウの [キャンセル] ボタンをクリックします（製品のライセンス認証は「STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール」では行わず、「STEP 4. ライセンスの設定」で行います）。



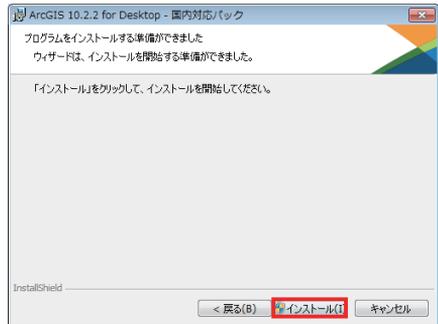
※ 既にライセンスの認証または参照するライセンス サーバを指定している場合は、「ArcGIS Administrator ウィザード」ウィンドウが表示されません。

10. 自動的に「ArcGIS 10.2.2 for Desktop - 日本語パック」のインストールが始まります。

11. [OK] ボタンをクリックして、日本語パックのインストールを終了します。



12. 次に、ダウンロードした **JpnPack\_Desktop10\_2\_2.zip** (国内対応パック) を展開し、展開先フォルダ内の **JpnPack\_Desktop10\_2\_2.msi** をダブルクリックして、ArcGIS 10.2.2 for Desktop - 国内対応パック をインストールします。  
[次へ] → [インストール] ボタンをクリックして、インストールします。



13. ArcGIS 10.2.2 for Desktop - 国内対応パック のインストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



2\_JpnPackにあるファイルです

### STEP 3. パッチ等のインストール

STEP 1 でダウンロードしたパッチ等のインストールを行います。

#### 重要

以下の ① と ② のパッチは ① → ② の順で実行してインストールします。

① **Set Shapefile Default Code Page パッチ** (ArcGIS-1022-DT-SSDCP-Patch.msp)

ファイルをダブルクリックして、ウィザード画面にしたがってインストールします。

② **文字コード設定変更パッチ ファイル** (ArcGIS-1022-DT-ChangeCPtoShift\_JIS.bat)

ファイルをダブルクリックして実行します。このパッチ ファイルは ArcGIS for Desktop を利用するユーザー アカウント毎に実行してください。

※ 各パッチの詳細については 4 ページをご覧ください。

UTF-8 の設定でご利用になる場合の制限の詳細については、下記の Web ページをご参照ください  
(サポート サイトへのログインが必要です)。

・シェープファイルの文字コードに関する注意

[https://esrij-esri-support.custhelp.com/app/answers/detail/a\\_id/5411](https://esrij-esri-support.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/5411)

必要に応じて、ArcGIS 10.2.2 for Desktop 製品のダウンロード サイトで提供している以下のプログラムをインストールします (これらのプログラムは後からでもインストール可能です)。

- ・プログラムの一部 (不具合など) を修正するパッチ
- ・任意でインストールする各種プログラム

パッチは随時リリースされますので、製品のインストール後にリリースされたパッチを確認する場合は、ESRIジャパンの Esri 製品サポート サイトにログイン後、[ダウンロード] のプルダウン メニューから [サービス バック・パッチ] のカテゴリで確認してください。

※ ESRIジャパン のEsri製品サポート サイトへのログイン アカウントについては、下記の学内専用URLをご参照ください。

<http://sls.csis.u-tokyo.ac.jp/campusonly/supinfo.html>

3\_Patch 4\_Setting\_CharacterCode にそれぞれ対応します。

ではArcGIS-1022-DT-SSDCP-Patch.mspをダブルクリックしてウィザードに従ってインストールを進めてください。(結構時間がかかります。)

では、ファイルを解凍し、ArcGIS-1022-DT-ChangeCPtoShift\_JIS.batをダブルクリックします。するとコマンドプロンプト(黒い画面)が自動で立ち上がり、そしてすぐに消えてしまいますが、これで完了です。

これにてインストールはこれで終了です。  
(5\_Optionsのインストールは不要です。)

## STEP 4. ライセンスの設定

このステップでは、ArcGIS 10.2.2 for Desktop を使用するためのライセンスの設定についてご説明します。

### i. 同時使用 (CU) ライセンスの参照

#### ライセンス サーバとは？

ライセンス サーバとは、ネットワーク上で同時に使用できる ArcGIS for Desktop ソフトウェアの数を管理するサーバのことです。同時使用ライセンスでは ArcGIS Administrator を使用して、ライセンス サーバ上のライセンス情報を参照します。

1. Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [ArcGIS] → [ArcGIS Administrator]  をクリックします (Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降 の場合は、Windows のスタート画面の [ArcGIS Administrator] タイル  をクリックします)。

# インストール

## STEP 4. ライセンスの設定

2. ライセンスを参照する製品を選択します。次に、[今すぐライセンス マネージャを定義] を選択し、その下の入力フィールドに、ライセンス サーバのコンピュータ名、または IP アドレスを入力します。[参照] ボタンをクリックしてネットワーク上のライセンス サーバを参照することもできます。[OK] ボタンをクリックして、ライセンスの参照を終了します。

**Advancedを選択してください。**

**1. 製品を選択します。**

ArcGIS for Desktop

- Advanced (ArcInfo) (同時使用)
- Standard (ArcEditor) (同時使用)
- Basic (ArcView) (同時使用)

ArcGIS Engine

- ArcGIS Engine (同時使用)

Esri CityEngine

- Advanced (同時使用)
- Basic (同時使用)

**2. 同時使用ライセンス製品のライセンス マネージャを定義します。**

ライセンス マネージャ

- 今すぐライセンス マネージャを定義

XXXXXXXX    参照...

↑ お使いの **ライセンス サーバのコンピュータ名** または **IP アドレス** (この名前は入力例です。)

**2. 単独使用ライセンス製品の認証ウィザードを起動します。**

認証ウィザード

今すぐ認証

OK    キャンセル

- ※ 東京大学のライセンスサーバのIPアドレスについては、下記の学内専用URLをご参照ください。  
<http://sls.csis.u-tokyo.ac.jp/campusonly/linfo.html>

157.82.234.37  
157.82.234.38  
157.82.234.39  
のいずれかを入力してください。

## ii . ライセンスの借用

### 学外で ArcGIS for Desktop を使用するには？

クライアント PC は、参照するライセンス サーバ から、ライセンスを借用することができます。

ライセンスを借用すると、ライセンス サーバにアクセスすることなしに ArcGIS for Desktop を使用することができます。

#### 【ライセンス借用の手順】

1. [ArcGIS Admisnistrator] を起動します。
2. [借用 / 返却] をクリックします。
3. 借用を行いたい機能の [借用済み] チェックボックスをオンにします。
4. [適用] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

#### ※ ライセンスの借用期間について

借用期間は「180 日」です。この期間を過ぎると借用したライセンスは自動的にライセンス サーバに返却されます。

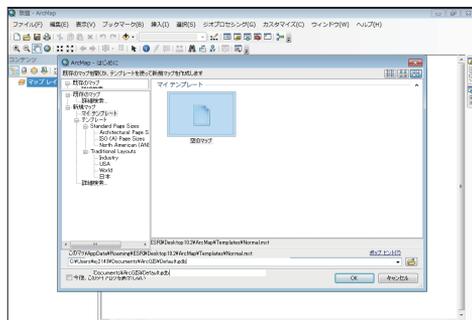


## STEP 5.動作確認

1. Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [ArcGIS] → [ArcMap 10.2.2]  をクリックします (Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降の場合は、Windows のスタート画面の [ArcMap 10.2.2] タイル をクリックします)。

2. ArcMap が動作するか確認します。

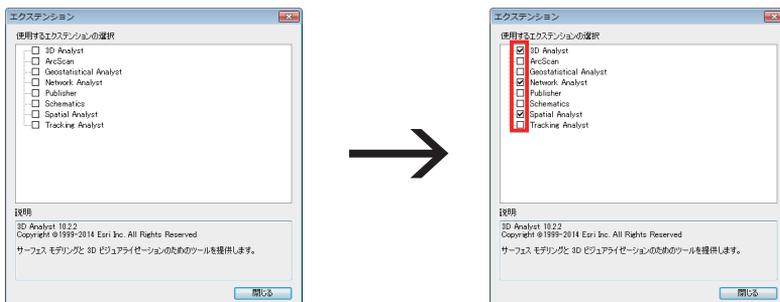
※ArcMap の画面が英語で表示される場合は、23 ページをご確認ください。



3. 使用可能なエクステンションがあり、これらのツールや機能を使用する場合は、[カスタマイズ] メニュー → [エクステンション] をクリックします。



4. 使用するエクステンションのチェックボックスをオンにします。



※ライセンス認証をしていないエクステンションは使用できません。

# アンインストール

アンインストールの手順についてご説明します。

必ず以下の手順でアンインストールを行ってください。

## アンインストールの流れ

### ① 借用ライセンスの返却

### ② プログラムのアンインストール

(1) 機能拡張ツールなどのアンインストール



(2) 国内対応パックのアンインストール



(3) 日本語パックのアンインストール



(4) ArcGIS for Desktop のアンインストール

## ①借用ライセンスの返却

ライセンス サーバからライセンスの借用を行っている場合は、必ずプログラムのアンインストールを実行する前に、ライセンスの返却を行ってください。

【ライセンス返却の手順】

1. [ArcGIS Administrator] を起動します。
2. [借用 / 返却] をクリックします。
3. 借用しているライセンスのチェックボックスをオフにします。
4. [適用] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。



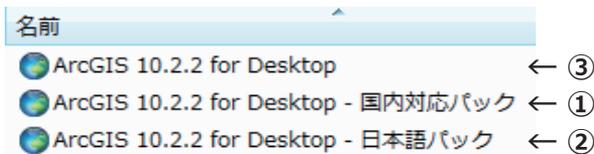
## ② プログラムのアンインストール

### プログラムのアンインストールの順番

- (1) 機能拡張ツールなどのアンインストール
- ↓
- (2) 国内対応パックのアンインストール
- ↓
- (3) 日本語パックのアンインストール
- ↓
- (4) ArcGIS for Desktop のアンインストール

### アンインストールの手順

1. Windows の [コントロール パネル] → [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] をクリックします。
2. 「国内対応パック」、「日本語パック」、「ArcGIS for Desktop」以外の ArcGIS for Desktop 関連プログラム（機能拡張ツールなど）がインストールされている場合は、これらをすべてアンインストールします。
3. 以下に図示した順（①「国内対応パック」→②「日本語パック」→③「ArcGIS for Desktop」）でプログラムをアンインストールします。



各プログラム上で右クリックし、[アンインストール] または [アンインストールと変更] をクリックしてアンインストールを実行します。

## 目次

---

- ❶ ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール時にウィンドウが表示されてインストールが中断する (21 ページ)
- ❷ ArcGIS 10.2.x から10.2.2 にアップグレードすると、ライセンスが無効となり ArcMap が起動しなくなった (21 ページ)
- ❸ ArcGIS 10.2.2 for Desktop の上書きインストールの際に、マシン トラブルなど何らかの原因でインストールが中断した (22 ページ)
- ❹ インストール後に初めて起動した ArcMap 10.2.2 の文字表記が英語で表示される (23 ページ)
- ❺ (同時使用ライセンスをご使用の方)ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール後に ArcMap 10.2.2 を起動すると、メッセージが表示される (24 ページ)
- ❻ エクステンションのライセンスを認証したが、エクステンションが使用できない (25 ページ)

## ❶ ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール時に「ArcGIS 10.2.2 for Desktop には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 相当が必要です。」というウィンドウが表示されてインストールが中断する

このメッセージは、ArcGIS 10.2.2 for Desktop をインストールするコンピュータにMicrosoft .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合に表示されます。以下の手順にしたがって、**Microsoft .NET Framework 3.5 SP1** をインストールしてください。



1. 「STEP 1. インストール プログラムの入手」(4 ページ) でアクセスした ArcGIS 10.2.2 for Desktop の製品ダウンロード サイトに、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 のダウンロード サイトへのリンクがあります。このリンクからファイルをダウンロードし、インストールを行ってください。
2. Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 のインストールが完了したら、「STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール」の 2. (6 ページ) で展開された 10.2.2 のインストール プログラムのフォルダ内の **Setup.exe**  を実行して、3. (7 ページ) からインストールを行ってください。

## ❷ ArcGIS 10.2.x から10.2.2 にアップグレードすると、ライセンスが無効となり ArcGIS for Desktop が起動しなくなった

ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストーラを再度実行し、以下の方法で修復を行います。

1. STEP 2 (6 ページ) で ArcGIS 10.2.2 を展開したフォルダ (デフォルトでは <マイドキュメント>\ArcGIS 10.2.2\ArcGIS Desktop\_Japanese) 内の



**Setup.exe**  をダブルクリックし、インストーラを実行します。

- 21 ページ右下の画面で [修復] を選択し、ダイアログにしたがって再インストールを行います。

### ③ ArcGIS 10.2.2 for Desktop の上書きインストールの際に、マシントラブルなど何らかの原因でインストールが中断した

インストールが中断してしまったときは、手動で 10.x のプログラムをアンインストールし、10.2.2 をインストールする方法でインストールします。なお、インストールが中断した時点のインストールの進捗度合いによってその後の手順が一部異なりますので、ご使用中のコンピュータの状態をよくご確認ください。

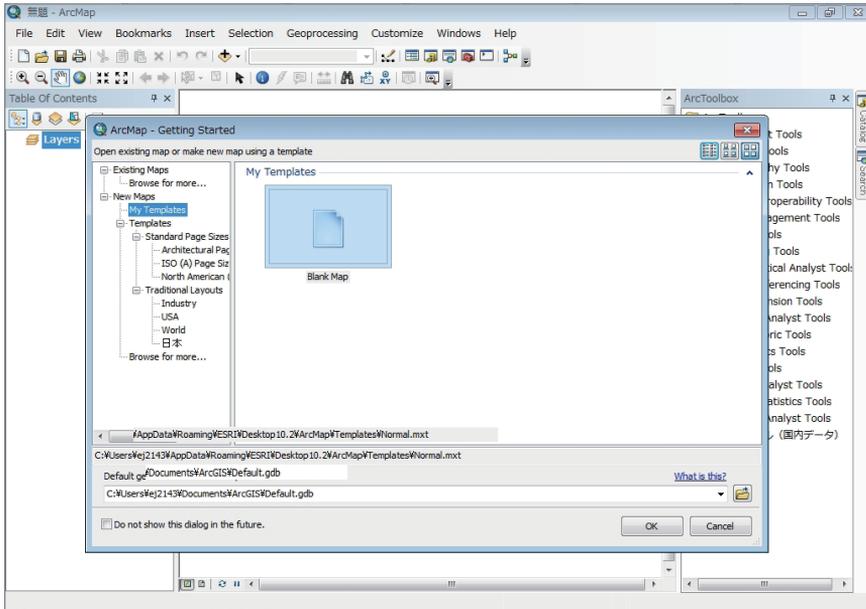
1. コンピュータを再起動します。
2. Windows の [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] をクリックして、[プログラムのアンインストールまたは変更] のプログラム一覧を確認します。
3. プログラムの一覧で、インストールされている ArcGIS 10.x for Desktop プログラムを確認し、該当するプログラムが残っていれば、以下の ①～④ の順でアンインストールします。なお、上位に記載されているソフトウェアがプログラム一覧にない場合、その一つ下のソフトウェアをアンインストールします。

#### アンインストールの順番

- ① 機能拡張ツールなどのプログラム
- ↓
- ② ArcGIS 10.x for Desktop -国内対応バック
- ↓
- ③ ArcGIS 10.x for Desktop - 日本語バック
- ↓
- ④ ArcGIS 10.x for Desktop

4. 最初からプログラム一覧に ArcGIS 10.x for Desktop 関連のソフトウェアが表示されていない場合は、次の手順に進みます。
5. 「STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール」の 2. (6 ページ) で展開された 10.2.2 のインストール プログラムのフォルダ内の **Setup.exe**  を実行して、3. (7 ページ) からインストールを行ってください。

## ④ インストール後に初めて起動した ArcMap 10.2.2 が英語で表示される



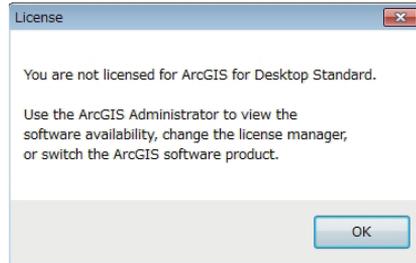
ArcMap 10.2.2 の初回起動時に言語が英語で表示される場合は、自動で行われる日本語パックのインストールが正常に完了できていない可能性があります。

以下の手順にしたがって、日本語パックを再インストールしてください。

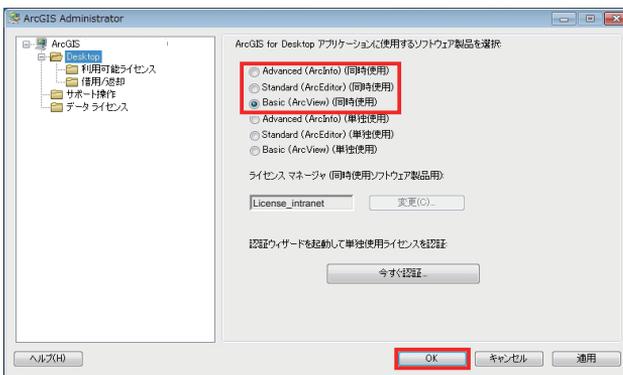
1. 「STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール」の 2. (6 ページ) で展開されたインストール ファイル フォルダ内 (デフォルトでは、**<マイドキュメント>¥ArcGIS 10.2.2¥Desktop\_Japanese¥Supplement**) にある **DesktopJapanese.msi**  をダブルクリックします。
2. 「STEP 2. ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール」の 10. のウィンドウが表示されますが、インストールが終了すると、このウィンドウは自動的に閉じます。

## ⑤ (同時使用ライセンスをご使用の方) ArcGIS 10.2.2 for Desktop のインストール後に ArcMap 10.2.2 を起動すると、メッセージが表示される

このメッセージは、[ArcGIS Administrator] の使用ライセンス選択ボタンで、ライセンスサーバで認証されたライセンス製品以外の製品が選択されている場合、またはライセンスマネージャのライセンス認証が完了していない場合、またはライセンスサーバの設定がされていない場合に表示されます。



1. Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [ArcGIS] → [ArcGIS Administrator]  をクリックします (Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降の場合は、Windows のスタート画面の [ArcGIS Administrator] タイル  をクリックします)。
2. 以下の図の赤枠で囲った部分で、ライセンスサーバで認証を行ったライセンスを選択します。認証を行ったライセンスを選択したら、[OK] ボタンをクリックして ArcGIS Administrator を閉じ、再度 ArcMap 10.2.2 を起動してください。どのライセンスを認証したかわからない場合は、ライセンス毎に ArcGIS Administrator のツリーから [利用可能ライセンス] をクリックしてご確認ください。



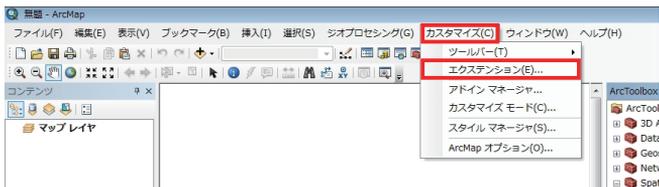
※ArcGIS 10.2.2 へのアップグレードの際にライセンスサーバを以前と異なるコンピュータに変更した場合や、ライセンスサーバでライセンスの種別を変更した場合は、ArcGIS Administrator (ArcGIS for Desktop) 側の設定も変更する必要があります。

## ⑥ エクステンションのライセンスを認証したが、エクステンションが使用できない

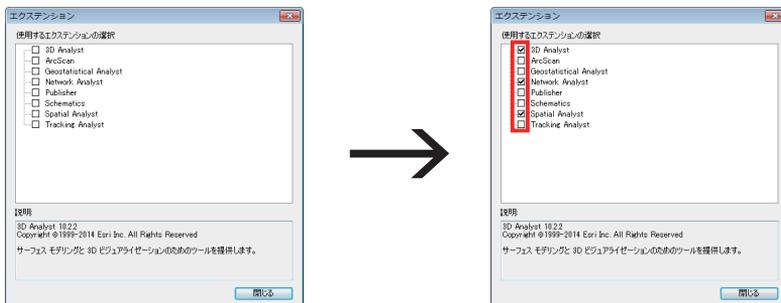
右のメッセージは、[カスタマイズ]メニューの[エクステンション]ウィンドウで、使用したいエクステンションのチェックボックスがオンになっていない場合に表示されます。



1. [カスタマイズ]メニュー → [エクステンション] をクリックします。



2. 使用するエクステンションのチェックボックスをオンにします。



※ライセンス認証をしていないエクステンションは使用できません。

上記の方法で解決しない場合は、以下のページをご覧ください。

[https://esri-j-esri-support.custhelp.com/app/answers/detail/a\\_id/792](https://esri-j-esri-support.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/792)

# 技術的な質問に関するお問い合わせ

操作方法などの技術的なお問い合わせにつきましては、ESRIジャパンの Esri 製品サポート サイトからお問い合わせください。

※ ESRI ジャパン の Esri 製品サポート サイトへのログイン アカウントについては、下記の学内専用 URL をご参照ください。

<http://sls.csis.u-tokyo.ac.jp/campusonly/supinfo.html>

- ① ESRIジャパンの Esri 製品サポート サイトにアクセス
- ② Esri 製品サポート サイトにログインして、[お問い合わせ] をクリック



- ③ フォームに質問内容を記載して送信

東京大学様向け ArcGISサイトライセンス  
ArcGIS 10.2.2 for Desktop インストール ガイド  
初版 第1刷  
2014年8月  
ESRIジャパン株式会社  
<http://www.esri.com>

本書に記載されている社名、商品名は各社の商標および登録商標です。

「ArcGIS」および「ArcGISロゴ」は、米国 Esri 社の登録商標です。

本書に記載されている内容は予告無く変更される場合があります。

Copyright © Esri Japan. 無断転載を禁ず